

平成 21 年 6 月 2 日

堀部 和経 先生

文英堂 常務取締役 遠藤 信雄
編集部長 藤田 雅士
編集部次長 金子 正美

拝啓

時下、先生にはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜りありがとうございます。

さて、先生にご尽力いただきました弊社教科書『高等学校 新編数学』シリーズは、弊社の営業力不足もあり、残念ながら採択部数が伸びず苦戦しております。また、年々大手教科書会社のシェアが高まり、寡占化の傾向も続いており、使用校の意見を取り入れて改良した改訂版では、更に採択部数が減るという結果になってしまいました。ご尽力いただいた先生には労力に見合った印税をお支払いすることもできず誠に申し訳ございません。

次の学習指導要領は、小学校が平成 23 年から、中学校が平成 24 年から、高校は平成 25 年から実施されますが、高校の数学・理科は 1 年先行しての実施となり、平成 24 年から実施されます。更に、初年度には数学Ⅰ・数学Aの他に数学Ⅱも検定受付となり、その教科書も作成しなくてはなりません。

上記諸事情を踏まえ、弊社では次の学習指導要領で数学教科書を引き続き発行していくかどうか協議を続けてまいりました。発行する場合の問題点として、営業力の増強が望めないことから現状より大幅な採択部数増にすることが難しいこと、採択部数が少ないことから本来なら大幅な変更が必要となりますが、編集期間があまりにも短いことからそれも難しいこと、さらに学参の編集では中学学参と高校学参を同時に改訂しなければならないことから教科書編集担当者の増強も望めないことが挙げられました。

高校改訂指導要領発表以来約半年にわたる検討の結果、弊社では残念ながら、「次の学習指導要領のもとでの数学教科書発行を断念する。」ことに決定させていただきました。

この決定は、過日（5/28）、代表著者の竹之内脩先生にご説明申し上げ、ご了承いただきましたが、最終決定に至るまでに時間がかかりましたことから、先生にご連絡を差し上げるのが大変遅くなりましたことを心よりお詫び申し上げます。

これまで永きにわたり弊社数学教科書にご尽力いただいたことを心より感謝いたします。本来なら、先生に直接お会いした上で、ご説明すべきところですが、文書にてのご連絡お許しください。

最後となりましたが、先生のますますのご健勝を心よりお祈り申し上げます。

敬具